

2025 年 8 月 17 日

関係各位様

日本水上スキー・ウエイクボード連盟
大会組織委員会

第 71 回（2025 年度）桂宮杯全日本水上スキー選手権大会 大会概要 ver4

日本水上スキー・ウエイクボード連盟は、青少年の育成および競技者への生涯スポーツの提供のために、競技スポーツとしての水上スキーの大会（個人戦）を開催します。

大会要項

日 程	2025 年 9 月 11 日（木） から 9 月 15 日（月・祝）
開催場所	秋田県大潟村水上スキー場
主 催	特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟
主 管	特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟大会組織委員会 秋田県水上スキー連盟
後 催	秋田県、大潟村、大潟村教育委員会、公益財団法人マリンスポーツ財団
競技方法	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則による。
参加資格	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則に基づく有資格者
競技種目	スラローム、トリック、ジャンプ
ク ラ ス	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則による。
運営日程	9 月 11 日（木） 設営、公開練習 9 月 12 日（金） 設営、公開練習、（競技） 9 月 13 日（土） 競技、開会式、 9 月 14 日（日） 競技、表彰式、懇親会 9 月 15 日（月・祝） 競技、表彰式、閉会式 日曜、祝日は、高校生以下の競技を優先します。 11 日と 12 日の公開練習の開催案内は Facebook で確認ください。 参加人数が多い場合は、12 日の夕方から競技を開始する場合があります。
表 彰	男女オープンクラスの総合優勝者には桂宮杯授与。 クラスを超えて男女の各種目別の最高成績者を種目優勝者として表彰。 各クラスの総合および種目別の成績上位者の表彰。
公 認	今大会は、設備、環境、ジャッジから日本記録が認められる公認大会です。
助 成	今大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催します。





大会役員

大会名誉顧問	鈴木健太	秋田県知事
大会会長	本間徹	日本水上スキー・ウエイクボード連盟会長
大会副会長	高橋浩人	大潟村長
	笹川善弘	公益財団法人マリンスポーツ財団会長
	杉渕正英	秋田県水上スキー連盟理事長
	佐坂潤	全日本学生水上スキー連盟理事長
大会参与	三浦智	大潟村教育委員会教育長
	今野諭	大潟土地改良区理事長

大会組織委員会

大会組織委員長	坂田伸一	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
大会組織委員会	三船武志	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
	大西幹雄	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
	三輪久	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
	上鶴ポーマン麻夕子	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
大会組織委員会事務局	長田まり子	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
	後藤晴子	大分県水上スキー連盟
	神谷晴江	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
	松本喜代美	東京都水上スキー連盟
	土屋信太郎	群馬県水上スキー連盟

競技役員

チーフジャッジ	坂口直樹	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
セーフティディレクター	正林道彦	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
ホモロゲーター	池田昌弘	秋田県水上スキー連盟
スコアラー	早野秀人	日本水上スキー・ウエイクボード連盟
ジャッジ、ドライバー	坂田伸一、後藤晴子、三木寛之、鈴木太智、和合孝博、森山佳昭、金野浩介、倉品裕介、増谷恒祐、高見裕大、小澤正男、石黒啓介、木村安里、土屋信太郎、平井佐季、山口晃史、松本光生、平栗拓真	

曳航艇情報

3 イベント共通	Ski Nautique 200CB, PCM H6 Direct injection 6.2L, 12.50 x 15.50, VR4B 1,000 Cup.150 2016 Zero-off GPS / Tournament speed control system
予備艇	Ski Nautique 200CB ZR400 6.0L 12.50 x 15.50, VR4B 1,000 Cup.150 2010 Zero-off GPS / Tournament speed control system バラストタンク装備なし



エントリー

エントリー受付 ホームページで8月18日から9月1日24:00までの受付予定
エントリー費 参加選手個人のエントリー費は下記の通りとさせていただきます。

	一般	学生・ジュニア
1 種目	¥12,000	¥6,000
2 種目	¥17,000	¥8,500
3 種目	¥22,000	¥11,000

オープンクラスの参加資格の改訂とそれに準ずる規定

- JWWF 水上スキー国内競技規則 ver5 2025.08.04 に記載されているとおり、オープンクラスの参加資格の記録を改訂し、それに準じて初速やマイナスメーター変更があります。確認をお願いします。<https://www.dropbox.com/scl/fi/61y1f2k4nwdpwi5ww4ne/JWWF-ver5-2025.08.04.pdf?rlkey=ffzpz1rusdm8o2srj19pcykgi&st=qkqyimos&dl=0>
- 近年認めていた初速よりも低いスピードでスラロームを開始することは、8.01 に規定されているとおり、認めないこととします。

オープンクラスの桂宮杯と表彰

- 桂宮杯はオープンへのエントリーした選手の男女のオーバーオール優勝者に進呈します。
- オープンクラスの種目別の上位成績者には、より焦点を当てた表彰を実施します。

21+クラスのオープンクラス予選および決勝への参加

- 21+への参加は、オープンの予選への参加とみなし、決勝にも進むことができます。決勝進出人数は、オープン予選と21+の出場数の合計から、14.07 に従って決められます。
- ダブルエントリーが採用された場合、21+の選手はオープンにエントリーできず、オープンの選手も21+にエントリーできません。
- 21+のエントリーからオープンの決勝に出場した場合、翌年以降は21+でのエントリーは出来ないものとします。ただし、有効期間を超過し記録の有効性を失った後は該当しません。

都道府県連盟推薦枠の拡大

- どのカテゴリーのどの種目にも記録を満たしていなくても、都道府県連盟の推薦を受けた選手はオープンを除くクラスへ3種目に出場できます。競技規則では推薦人数は連盟内で5名までとしています。 **今大会は制限を設けません。**
- 参加資格の記録を有していない種目に対しても推薦での出場が摘要されます。

エントリーの上限

- 各種目でエントリー人数の上限を設ける。参加資格の記録を満たすエントリーが優先され、都道府県連盟の推薦のエントリー受理は申込順とします。

ダブルエントリー（実施の判断は受付後判断します）

- オープンクラスとエイジクラスのダブルエントリーは、基本のエントリーを受け付けた後に、エントリー人数と運用時間を見て、募集を決定させていただきます。受け付ける場合は下記の条件とします。

- 各エイジクラスへのエントリーと並行して、オープンクラスの自身で選択した出場資格の記録を有する1種目にダブルエントリーできることとします。
- また、オープンクラスへのエントリーと並行して、各エイジクラスの自身で選択した1種目にダブルエントリーできることとします。
- 21+とオープンクラスのダブルエントリーはできません。
- 推薦で出場する種目ではダブルエントリーはできません。
- ダブルエントリーで受け付けた種目はそのクラスの条件で運用され、そのクラスでの正式記録となります。
- 競技の運営時間などに影響が出る場合には、ダブルエントリーの運用を見送ることもあります。
- ダブルエントリーのエントリー費は上記の1種目の金額です。運営後の集金の予定です。

スキーヤーズミーティング

- ・ 日時と会場を調整して対面で開催することを検討しています。が、期間中もしくは大会後のオンラインでの開催になることも了承をお願いします。

保護者の同伴

- ・ 17歳以下の方が参加する場合は保護者が同伴するようお願いします。病気、および、怪我で病院などへ搬送される場合に保護者の方に付き添いをいただくためです。
- ・ 自身で委任状を用意し取り交わした成人の方の代行でも構いません。事故、怪我、病気などで関連施設へ移動する際には必ず本人に付き添って、責任を持って対応するようお願いします。

公開練習

- ・ 公開練習は全エントリー選手が有料で参加できます。**1種目2,000円。複数種目の参加可。**
- ・ 準備の都合と参加希望人数に応じて、練習の内容、参加人数、1人当たりの時間配分などを主催者側で調整させていただきます。準備と設営が優先されることをご了承ください。

ゴミの削減のために

- ・ ゴミの削減、環境への配慮、そして、熱中症の防止のために、公開練習からの5日間、飲料と氷を主催者より全参加者に有料で提供します。**5日間で2,000円（日割り有り）。**
- ・ 参加および来場される方は、マイボトルを用意し、ペットボトルや缶など容器がゴミとして排出される飲料の会場内への持ち込みを控えるようお願いします。
- ・ これはJOC（日本オリンピック委員会）加盟団体としての活動にもなりますので、ご協力をお願いいたします。JOCの加盟団体はこちらのレポートのようにイベントにおける環境保全活動に取り組んでいます。こちらをご覧ください。

<https://www.joc.or.jp/eco/report/2023/?pNo=128>

運営上の注意点

- ・ 貴重品や手荷物などの盗難や紛失、会場内外での事故などについては、大会組織委員会では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 交通、宿泊は参加者各自の責任において手配ください。
- ・ 荷物の宅配など受け取り、発送、とも取り扱いません。ご了承ください。
- ・ 選手、役員、関係者の肖像権は、日本水上スキー・ウエイクボード連盟が留保します。